

ホームページ作成の思い

私は 81 歳である。この年になってホームページを作るのは、自叙伝でも書くためだろう、と思われても仕方がない。それも確かである。しかしそれだけでこの重い電子操作をやる気は起こらない。残った 4~5 年の人生で何をすべきかを過去を振り返ることで見つけたいと思ったからである。生涯を通じ、私が研究したのは木材のある側面であったから、木材とは何か、木とは、そして森とは、などと日頃考え、随筆を多く書いた。これらのうち雑誌に掲載されたものをコピーした。20 年たった現在の知識も、天然物の外見に関わる事柄については、余り変っていない。書籍にしたものは今回遠慮したが、今後出版社と話し合い、デジタル化したいと思っている。定年後 10 年勤めた財団は、当時は先進的だった生態保全型農業と生産物の性質を研究、普及していたので、それらについて、人の健康がらみで考察した。成果が幾つかがまとまり、印刷したものを、掲載した。映画化したものは残念ながら、台本だけである。考察に健康の問題が対象になる。従って健康の問題は深いところで捕らえた論説が多い。これは幼児期から悩まされ、今も変わらない喘息体質と関係があるだろう。別に喘息克服への努力のメモが集めてある。

クラシック音楽や旅行が好きなのは青年期からである。音楽は喘息で沈みがちな気持ちを引き立ててくれた。最近 10 年の旅は世界へ、音楽はオペラへと関心が移った。それまでは旅行は国内、音楽は室内楽であったが。音楽を文であらわすのは大変難しいが、オペラでは少し楽なもの掲載の理由の一つである。

印刷したものを除くと掲載したのは、パソコンを使えるようになった最近 10 年間、ワープロで書いた、その前 5 年間のものである。それ以外は写真を、出来事への追憶を添えて掲載した。

他人の古いことなど関心を呼ばないのが普通であるが、病弱でもそれなりの一生を送れた人間の生活を知っていただき、温故知新の役が果たせれば幸いである。

なお本ホームページを作る気を起こさせ、多大な実務をしてくださったの

は木原八重子（旧姓中田）さんである。彼女は今 30 歳に近いが 20 年来の知り合い。記して謝意を表す。